

シグマ委員会核データ専門部会
融合炉核データW.G第4回会合議事録

日 時：昭和50年3月10日

場 所：東京，産業会議会議室

出席者：村田，関，更田，西村，伊尾木，伊藤，田中

議 事

(1) 前回議事録確認

(2) Screening 作業結果の紹介，討議

各メンバーから Screening 作業の紹介があった。

(村田) 分担核種： ^{12}C ， ^{16}O

散乱の断面積に対しては，user は (En ， En') でマトリックスを作ることになるので，散乱のスペクトルも必要である。

(n ， α) データは32編，(r ， P) データは18編ほど文献がある。

(更田) 分担核種： Pb ， ^{237}Nb

^{237}Nb は fission chamber に使うために request されたものである。従って， σ_{fiss} データの有無をサーベイする必要がある。

(西村) 分担核種： $^{6,7}\text{Li}$ ， ^{19}F

既存のデータを CCDN に請求中である。

(伊藤) 分担核種： ^{27}Al ， Ca

^{27}Al については評価作業も行ないたい。

(伊尾木) (分担核種として Zr を依頼した。)

(関) 分担核種： Mo ， ^{92}Mo ， ^{94}Mo (北沢氏と共に)

(田中) 分担核種： Cr ， ^{52}Cr ， Fe ， Ni ， Cu

主にCINDAによってデータの有無をサーベイした。request
されたエネルギー範囲をカバーするようなデータはほとんどな
かった。

今後の作業の進め方について、核データの有無に関するテーブルを作るな
どの提案もあったが、ともかく screenerが Request List Format をう
めてみる(ただし、Applicationなどは requester にうめてもらう)と
いうことにした。この作業結果を次回の INDC に提出するためには、dead
line は7月末である。